

## PI-480a 植物 DNA Ver.1 プロトコール

### 土壌からの DNA 分離精製

~ Automated DNA extraction from soil ~

本データでは、土壌サンプルからの DNA 分離精製実績を示します。



## 実験

サンプル	土壌サンプル溶解液
サンプルセット数	最大 48 サンプル / 1 回
分離装置	DNA 自動分離装置 GENE PREP STAR PI-480a 植物 DNA Ver.1 分離プロトコール
試薬キット と消耗品	植物 DNA 試薬キット Ver.1 (NR-501) サンプルチューブ (PT-8000)、DNA 回収チューブ (NT-8000)
分離精製原理	<b>サンプル溶解:</b> ビーズ粉碎、CTAB 及び界面活性剤 <b>精製:</b> クロホルム系試薬による変性処理 <b>DNA 回収:</b> アルコール (エタノール) による DNA 沈澱

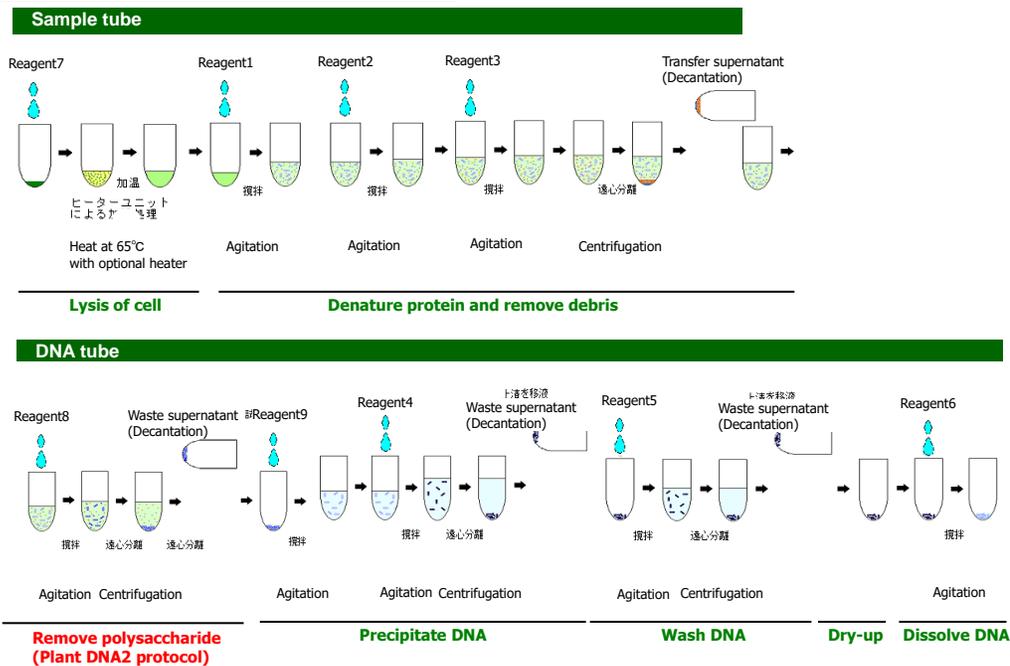
## 分離操作

- (1) 破碎・溶解処理済の土壌サンプル 400  $\mu$ l を 8 連サンプルチューブ (PT-8000) に移液する。
- (2) サンプルチューブ及び回収用の DNA チューブを装置にセットして分離運転を開始する。  
※以降、PI-480a標準の植物 DNA Ver.1 プロトコールに準じて処理を実施。
- (3) 分離後、DNA 溶液を回収

## PI-480a による自動分離運転工程

- Step 1. 蛋白変性と不純物除去
- Step 2. DNA 沈澱
- Step 3. DNA 洗浄
- Step 4. 乾燥
- Step 5. DNA 溶解試薬による DNA の溶解  
溶解液量 50 μl

## 植物 DNA プロトコルのワークフロー



植物 DNA Ver.1 プロトコルでは、多糖除去工程(赤字部分)は含まれていません。

## PI-480a 自動運転時間

- 48 サンプル: 2.8 hr
- 48 サンプル: 2.1 hr (オプションヒーター搭載時)

## 分析方法

- **収量と純度** : 分光光度計により各々の DNA 溶液の 260 nm の吸光度を測定。
- ・DNA 収量は「A260 x 50 x 希釈率 x 最終溶解量」にて算出。
  - ・DNA 純度は A260 / A280 の値より確認。

## 結果

### 収量と純度

No.	純度 A260/280	純度 A260/230	液量 (μl)	収量 (μg)
1	1.907	1.743	50	3.5
2	1.814	1.634	50	1.9

※No.1 と No.2 は別の場所から採取された土壌サンプルです。

## 製品情報

**分離装置** : DNA 自動分離装置 GENE PREP STAR PI-480a、植物 DNA Ver.1 プロトコール

**試薬キット** : 植物 DNA 試薬キット Ver.1 NR-501 (approx. for 700 preps)

試薬名称	試薬番号 (Code)	内容量
植物用蛋白変性試薬 A	1 (SR-1050)	1
植物用蛋白変性試薬 B	2 (SR-2050)	1
植物用除蛋白試薬	3 (SR-3025)	1
沈澱試薬	4 (PR-4050)	1
洗浄試薬	5 (PR-5050)	4
溶解試薬	6 (PR-6025)	1
植物用細胞溶解試薬	7 (SR-7050)	1

**本資料に記載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。**

**倉敷紡績株式会社**

〒572-0823

大阪府寝屋川市下木田町 14-30

クラボウ先進技術センター

電話: 072-820-3079

Fax: 072-820-3095